

(様式 3)

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	浜田市	公民館等の名称	市木まちづくりセンター
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県大生の有志と共に、地域住民や高齢者が参加し易い“憩いの場”的な場所の創設。 ・ 地元の空き家を利用した活動を推進する。 		
事業の実施期間	1 年目		
事業の内容	<p>○事業の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内住民とボランティア募集で集まった県立大学の学生 <p>○活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年にわたり放置されていた古民家の片付け（地域住民と学生の協働清掃作業）（4月） ・ 地域住民と学生による古民家活用を考えるワークショップ開催（4月） ・ 今後の活動に向けて古民家をPRするために、“透かし絵アート”の展示会開催（6月） ・ 地元での知名度アップを目指した“古民家の愛称の募集活動”展開（6月） ・ 集える古民家として、“第一回夜のパン屋さんと星座物語”開催（9月） ・ 集える古民家として、“第二回夜のパン屋さんと野鳥の話”開催（10月） ・ 集える古民家として、“第三回夜のパン屋さんと演劇発表”開催（11月） ・ 古民家の内装リフォームを目指して地元大工さんと学生さんとDIY活動（12月） <p>○「集うためのしかけ・工夫」「楽しむためのしかけ・工夫」</p> <p>ワークショップや愛称募集の活動はゲーム形式で行うことで、参加者の誰もが声を上げられるような雰囲気づくりを意識して行いました。また、後半（9月から）の活動では、多くの人に参加いただくことを目的に、市内のパン屋さんに協力をお願いしパンの販売も行いました。</p> <p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市木地域には“ふる里市木”という自治組織、兼まちづくり推進委員会の使命を持った組織がありますが、今回のような取り組みは地元において初めてであり、万事協働歩調がとれたとは行きませんでした。 ・ ふる里市木のイベントである“ほたる祭り”などでは多くの人や学生さんが当日の朝から地元の人たちと協同作業が出来ました。（地元の人たちにも、学生さんにも、まずは、互いの立場を分かり合うきっかけとなりました） 		
活動の様子などを周知した方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館報 地元誌 “ホタル新聞” に掲載 ・ ホームページ 26310 - ichigi.com（ふる里市木用） ・ その他（企画ごとに地元地域の全戸にチラシ配布） 		
成果・効果課題 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの活動にも、地元の人たちや県立大学の学生さんの参加が多数あり、①若者との交流促進、②閉塞感やマンネリ感の改善、③現状の諦め気分の打破などの成果や効果がありました。 ・ まちづくりセンターでも、ふる里市木でも、事業を企画・推進すれば、地元の人たちや学生さんの有志の賛同が得られる事に安堵しました。（当日の参加者の多い少ないよりも、企画段階から如何に関心を持ってもらうかに重点を置いて、次年度以降の地域活性化に繋がりたいと思います。） 		

令和7年4月の掃除の様子



令和7年4月昼食風景



令和7年6月透かし絵アートの展示会開催



ゲーム形式のワークショップ



夜のパン屋さんと星座物語

